

2026 年度
看護師特定行為研修
募 集 要 項

I. 看護師特定行為研修の概要

1. 岡山大学病院における特定行為研修の教育理念

岡山大学は、「高度な知の創成と的確な知の継承」を理念とする 10 学部 8 研究科 4 研究所、大学病院、附属学校機構等を有する総合大学です。そして岡山大学病院は、明治時代に岡山藩医学館として開設され、2020 年に創立 150 周年を迎えた歴史と伝統を有する病院です。本院は「高度な医療をやさしく提供し、優れた医療人を育て、社会・地域に持続的に貢献する」を理念とし、医療人の教育にも力が注がれています。また、臓器移植や小児心疾患に対する手術、幹細胞移植などの高度先進医療の開発・実践において、全国で最も進んだ施設の一つでもあります。

さて、2015 年 10 月、「特定行為に係る看護師の研修制度（以下、看護師特定行為研修）」が施行され、本院も 2020 年 2 月に「指定研修機関」として厚生労働省から指定を受けました。

本院でこの研修を行う第一の目的は看護の質の向上です。日本看護協会は「看護の将来ビジョン」において「本研修を修了した看護師は、特定行為のみを行うのではなく、連続した看護の関わりの中で特定行為を実施することにより、人々が安全で質の高い医療を時宜を得て受けられることに貢献する」と掲げています。その考えに同意し、看護の質のさらなる向上を目指します。他にも看護師の役割拡大やキャリア支援の目的があります。

以上を踏まえ、本院の特定行為研修の理念としては、高度医療の場において、特定行為を行う看護師としての社会的責任と役割を自覚しながら、チーム医療のキーパーソンとして高度な臨床実践能力を発揮し、新たな看護の発展に寄与することのできる看護師を育成します。

2. 看護師特定行為研修の目標

- 1) 高度医療の場において、特定行為を実施するために必要な知識・技術・態度の基本的な能力を身につけ、医師からの手順書による指示を基に特定行為の実施判断、実施、報告の一連の流れを適切に行うための実践能力を養う。
- 2) 医学的視点だけでなく看護学的視点を融合した全人的な看護が展開でき、標準化する能力を養う。

< 共通科目の到達目標 >

- 1) 多様な臨床場面において重要な病態の変化や疾患を包括的にいち早くアセスメントする基本的な能力を身につける。
- 2) 多様な臨床場面において必要な治療を理解し、ケアを導くための基本的な能力を身につける。

- 3) 多様な臨床場面において患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実践する能力を身につける。
- 4) 問題解決に向けて多職種と効果的に協働する能力を身につける。
- 5) 自らの看護実践を見直しつつ標準化する能力を身につける。

<区分別科目の到達目標>

- 1) 多様な臨床場面において当該特定行為を行うための知識、技術及び態度の基礎を身につける。
- 2) 多様な臨床場面において医師又は歯科医師から手順書による指示を受け、実施の可否の判断、実施及び報告の一連の流れを適切に行うための基礎的な実践能力を身につける。

3. 本院における特定行為研修の特色

- 1) 指導体制として、指導医・専門医資格を有する医師や、専門看護師・認定看護師等、指導経験が豊富な人材が指導にあたります。また、使用可能なネット環境や本院の図書館や看護部の図書室、本学の医歯薬融合型教育研究棟のシミュレーションセンターなど、学習環境を整備しています。
- 2) 共通科目・区分別科目は、e-ラーニングを主体とし、受講生が勤務と両立しながら、自宅や職場のパソコンを利用し学習することができます。また演習は、本学の豊富なシミュレーターを活用しながら、実践的かつ高度な知識と技術が身につく研修を行います。
- 3) 共通科目については、放送大学での履修も認めます（その場合は、研修の出願に際し、共通科目を全て修了していること）。
- 4) 実習は、年間約1万件の手術が行われている本院の特徴を活かし展開します。

4. 開講する領域別パッケージ・コース研修および定員

領 域 名	定員
術中麻酔管理領域	5 名
外科術後病棟管理領域	5 名
急性期	5 名

特定行為区分	特定行為	術中麻酔 管理領域	外科術後 病棟管理 領域	急性期
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	○	○	
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	○	○	○
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更		○	○
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整			○
	人工呼吸器からの離脱	○		○
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換		○	
胸腔ドレーン管理関連	低圧胸腔内持続吸引器の吸引圧の設定及びその変更		○	
	胸腔ドレーンの抜去		○	
腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去（腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。）		○	
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈注カテーテルの抜去		○	○
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入		○	○
創部ドレーン管理関連	創部ドレーンの抜去		○	
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	○	○	○
	橈骨動脈ラインの確保	○		○
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整		○	
	脱水症状に対する輸液による補正	○		
術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与及び投与量の調整	○	○	
循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミン投与量の調整		○	
	持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整	○	○	

Ⅱ. 研修期間・内容等

1. 研修期間

毎年原則 4 月 1 日～翌年 3 月 3 1 日

研修期間は原則 1 年とします。中断・再開については研修管理委員会にて審議します。

2. 教育内容及び教育時間数

本研修は、共通項目と領域別パッケージ、もしくはコース研修に分かれており、研修は、講義、演習、実習によって行われます。なお、共通科目は必修科目となり、共通科目を履修後に選択した領域別パッケージ、もしくはコース研修を受講開始します。

- 1) 共通科目（必修科目）：特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目（研修期間の目安：5 か月）

共通科目名	時間数(時間)					評価方法
	講義	演習	実習	評価	合計	
臨床病態生理学	29	1		1	31	筆記試験
臨床推論	26.5	16	1	1.5	45	筆記試験 観察評価
フィジカル アセスメント	17.5	8.5	13.5	5.5	45	筆記試験 観察評価
臨床薬理学	32.5	11.5		1	45	筆記試験
疾病・臨床病態概論	37	3		1	41	筆記試験
医療安全学・ 特定行為実践	24.5	14	4.25	2.25	45	筆記試験 観察評価
合計時間数	167	54	18.75	12.25	252	

- * 共通科目は e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格する必要があります。また、「臨床推論」「フィジカルアセスメント」「医療安全学・特定行為実践」は確認テストに合格後、実習へ進み観察評価を行います。

2) 領域別パッケージ：各領域において実施頻度が高い特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目（研修期間の目安：7 か月）

<術中麻酔管理領域>

区分別科目名	時間数(時間)					評価方法
	講義	演習	実習	評価	合計	
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	8		5 症例	1	9＋ 5 症例	筆記試験 実技試験 観察評価
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	12.5	3	10 症例 (各 5 症例)	1.5	17＋ 10 症例 (各 5 症例)	筆記試験 観察評価
動脈血液ガス分析関連	11.5		10 症例 (各 5 症例)	1.5	13＋ 10 症例 (各 5 症例)	筆記試験 実技試験 観察評価
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	9	1	5 症例	1	11＋ 5 症例	筆記試験 観察評価
術後疼痛管理関連	5.5	1.5	5 症例	1	8＋ 5 症例	筆記試験 観察評価
循環動態に係る薬剤投与関連	8.5	2	5 症例	1.5	12＋ 5 症例	筆記試験 観察評価

<外科術後病棟管理領域>

区分別科目名	時間数(時間)					評価方法
	講義	演習	実習	評価	合計	
呼吸器（気道確保に係るもの）関連	8		5 症例	1	9＋ 5 症例	筆記試験 実技試験 観察評価
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	13.5	2	10 症例 (各 5 症例)	1.5	17＋ 10 症例 (各 5 症例)	筆記試験 観察評価
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	7		5 症例	1	8＋ 5 症例	筆記試験 実技試験 観察評価
胸腔ドレーン管理関連	10.5	1	10 症例 (各 5 症例)	1.5	13＋ 10 症例 (各 5 症例)	筆記試験 観察評価
腹腔ドレーン管理関連	7		5 症例	1	8＋ 5 症例	筆記試験 観察評価

栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	6		5 症例	1	7+ 5 症例	筆記試験 観察評価
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	7		5 症例	1	8+ 5 症例	筆記試験 実技試験 観察評価
創部ドレーン管理関連	5		5 症例	1	6+ 5 症例	筆記試験 観察評価
動脈血液ガス分析関連	8		5 症例	1	9+ 5 症例	筆記試験 実技試験 観察評価
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	9	1	5 症例	1	11+ 5 症例	筆記試験 観察評価
術後疼痛管理関連	5.5	1.5	5 症例	1	8+ 5 症例	筆記試験 観察評価
循環動態に係る薬剤投与関連	11	3	10 症例 (各 5 症例)	2	16+ 10 症例 (各 5 症例)	筆記試験 観察評価

3) コース：当院の特定の領域において実施頻度が高い特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目（研修期間の目安：7 か月）

＜急性期コース＞

区分別科目名	時間数(時間)					評価方法
	講義	演習	実習	評価	合計	
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	20.5	6	20 症例	2.5	29+ 20 症例	筆記試験 観察評価
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	6		5 症例	1	7+ 5 症例	筆記試験 観察評価
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	7		5 症例	1	8+ 5 症例	筆記試験 実技試験 観察評価

動脈血液ガス分析関連	11.5		10 症例	1.5	13+ 10 症例	筆記試験 実技試験 観察評価
------------	------	--	-------	-----	--------------	----------------------

3. 修了要件

本研修を修了するためには、次の条件を満たす必要があります。

- 1) 共通科目を全て履修し、筆記試験もしくは観察評価に合格すること。
- 2) 1) 修了後、選択した区分別科目を履修し、一部の科目では実技試験に合格すること。

4. 修了判定

特定行為研修終了後は、岡山大学病院特定行為研修管理委員会にて修了判定を行います。研修管理委員会が修了したと認めるときは、受講者に特定行為研修修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出します。

5. 履修内容の読み替え

放送大学等で既に履修した授業科目については、関連する科目の受講にあたり、当研修の教育内容に相当すると岡山大学病院看護師特定行為研修管理委員会で判断された場合に限り考慮します。

Ⅲ. 出願等について

1. 出願資格

【本院の看護師】

- 1) 看護師の免許取得後、通算して5年以上の実務経験を有していること
- 2) チャレンジ資格付与試験を合格していること。(看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）または同程度の評価表において、3段階以上の評価を得ていること)
- 3) 心身共に健康で、研修修了後も特定行為実践を通して、医療の発展に貢献する意欲があること

【本院以外の看護師】

- 1) 日本国内における看護師免許を有していること
- 2) 看護師の免許取得後、通算5年以上の実務経験を有していること
- 3) 看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）または同程度の評価表において、3段階以上の評価を得ていること
- 4) 原則として、所属施設において特定行為の実践について協力が得られ、所属長の推薦を有すること
- 5) 心身共に健康で、研修修了後も特定行為実践を通して、医療の発展に貢献する意欲があること

2. 出願手続き

1) 募集期間

令和7年9月1日（月）～令和7年12月1日（月）（必着）

2) 募集要項請求方法

岡山大学病院看護教育センターホームページ「岡山大学病院看護師特定行為研修」から必要書類をダウンロードしてください。

URL: <https://nur-edu.hospital.okayama-u.ac.jp/education3/>

【出願提出書類】

- 1) 申請書（別紙様式1）
- 2) 履歴書（別紙様式2）
- 3) 申請理由書（別紙様式3）
- 4) 推薦書（別紙様式4）
- 5) 実務経験書（別紙様式5）

- 6) 看護師免許証の写し (A4 サイズ)
- 7) 既に修了した科目について履修免除を申請する場合
履修免除申請書 (別紙様式 6)
(履修免除申請書に添付する履修を証明する書類が応募時に提出できない場合は、履修免除申請書のみ提出し、令和 8 年 2 月 27 日までに履修を証明する書類を追加提出すること)
- 8) 個人情報の保護に関する誓約書 (別紙様式 7)
- 9) 感染対策に関する証明書 (本院以外の方のみ)
- 10) 受験票返送封筒 (本院以外の方のみ)
(受験票返送先の住所、氏名、郵便番号を明記した長 3 の封筒に送料用切手 460 円 <簡易書留料金>を貼って下さい)
- 11) 審査料
10,000 円 (税込)
申請書受領後に送付される専用の請求書により振り込み願います。
振込手数料は、申請者負担となります。

【出願書類提出先】

〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町 2-5-1

岡山大学病院総務企画課卒後研修担当

* 「特定行為研修受講申請書類在中」と朱書きし「簡易書留」で送付して下さい。

(相談・問い合わせ窓口)

研修内容に関すること：看護教育センター 086-235-7808

出願書類および受講料に関すること：総務企画課卒後研修担当 086-235-7508

3. 選考方法

書類審査および面接にて行います。

面接日時

令和 7 年 12 月中旬

詳細は、岡山大学病院看護教育センターホームページ「岡山大学病院看護師特定行為研修」に掲載します。

URL: <https://nur-edu.hospital.okayama-u.ac.jp/education3/>

4. 合否発表

選考結果につきましては、令和 8 年 1 月上旬までにご本人様宛に通知します。

5. 受講手続きについて

合格者の方に受講手続きの詳細をお知らせします。受講手続き期間及び受講料は以下のとおりです。

受講料は、受講手続き後に送付される専用の請求書により振り込み願います。振込手数料は、受講者負担となります

【受講手続き期間】

令和8年2月2日（月） ～ 令和8年2月27日（金）

【受講料】

所 属	術中麻酔管理領域パッケージ 急性期コース	外科術後病棟管理領域パッケージ
岡山大学以外	350,000 円	450,000 円
岡山大学	200,000 円	230,000 円

*放送大学にて全共通科目を修了した者または修了予定の者については、受講料の一部免除があります。

*岡山大学において現に認定看護師及び専門看護師の職にある者または受講時に職に就く予定の者については、受講料の一部免除があります。

*一旦納めた受講料は、原則として返還いたしませんのでご了承ください。

*受講料の請求書は、令和8年4月上旬に発送します。

*特定一般教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座です。制度及び申請手続きについての詳細は、以下をご確認ください。

厚生労働省 HP 教育訓練給付制度

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html

なお、給付を希望される方は、出願の際に必ず本院まで事前にご連絡ください。

6. 個人情報の取扱いについて

岡山大学病院では、本学の個人情報の取扱いに関する規則等に基づいて適切に取り扱います。出願及び受講手続きにあたって提供された個人情報は、本院の看護師特定行為研修及びこれに不随する事項のみに使用します。

なお、本院が取得した個人情報は、他の目的には利用しません。

7. その他

受講生は、日本看護協会看護師賠償責任保険等の賠償保険に加入してください。



岡山大学
OKAYAMA UNIVERSITY

【お問い合わせ】

岡山大学病院 看護教育センター

〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1

TEL 086-235-7808

FAX 086-235-7810